



大阪教育大学

(大阪府)

個性豊かな大阪の文化を感じながら、日本語を学んでみませんか

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

大阪教育大学は約150年の歴史と伝統を有する、日本で有数の教育大学です。教員養成課程と教育協働学科があり、すぐれた指導力を持つ教員や、社会の発展に貢献し得る人材の育成を行っています。

柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に11の附属学校園があります。大学院（教育学研究科・修士課程）は3コースからなります。

メインキャンパスである柏原キャンパスは、大阪府東部・柏原市内の金剛生駒紀泉国定公園の中になります。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。柏原キャンパスから大阪市の中心部までは、電車で約30分です。



② 国際交流の実績

2025年10月1日現在、本学には235名の留学生が在学しています。また、現在中国、韓国、台湾、ベトナム、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、スイス、キルギス、クロアチア、タイの38大学と学生交流協定を結んでおり、毎年、交換留学生の受け入れ・派遣を活発に行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2025年：留学生数235人、日研生8人
2024年：留学生数246人、日研生10人
2023年：留学生数245人、日研生15人

④ 地域の特色

大阪の文化力

西日本は独自の文化を発展させてきましたが、大阪はその中心都市と言うことができます。大阪は日本の伝統文化を守り育て、現在も日本文化に強力な影響を与え続けています。大阪教育大学で勉強しながら大阪の文化力に触れてみませんか？

大阪弁

大阪で話される方言は大阪弁と呼ばれ、力強くしかしとても温かく心に響きます。また、マンガやテレビドラマの中で、エネルギーでユーモラスな大阪人の特徴として使用されることも少なくありません。そのため、大阪弁は日本人だけでなく留学生にもとても人気があります。大阪教育大学の留学生はもちろん標準的な日本語を勉強しますが、キャンパスの内外で大阪弁を聞く機会がたくさんありますので、大阪弁の特徴も学ぶことができます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

(1) 日本語

日本語レベルに応じて必要な科目を受講し、日本語能力を高めることができます。

(2) 日本文化

日本の文化や社会、大阪や関西に対する理解を深めるための科目が充実しています。

(3) 個人研究

学生の希望や専門分野に応じて指導教員の指導のもと、修了レポートを書きます。

(4) 文化体験・文化交流

関西、西日本地区での文化研修（年1回）を実施しています。また、本学の学生との交流、地域の学校やボランティア団体との交流も活発に行われ、様々な活動に参加することができます。



③ 受入定員

20名（大使館推薦15名、大学推薦5名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・日本語能力試験N2相当以上の日本語力があることが望ましい。
- ・以下の本学のルールに同意できる者
研修期間中の車やバイクの運転は原則禁止
キャンパスの敷地内は全面禁煙

⑤ 達成目標

- ・日本語で修了レポート作成・発表をし、学術的な内容を的確に表現できるようになること。
- ・関西を中心に日本の文化を深く理解すること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬～2027年8月下旬
(在籍期間：2026年10月1日～2027年9月30日)

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月～2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日（2025年は9月22日渡日）

オリエンテーション

10月：後期授業開始

11月：ホームビジット
日本文化研修

12月：門松作り

2月上旬：後期授業終了

2月：日本文化を楽しむ会

4月：前期授業開始

修了レポートテーマ決定

6月：ホームビジット

7月：修了レポート提出

七夕飾り作り

8月：前期授業終了

修了レポート発表会

修了式

8月下旬：帰国

※スケジュールは変更することもあります



⑨ コースの修了要件

・各学期、セメスター科目で9科目以上（チーム科目の場合は2科目でセメスター科目1科目に相当）の履修

・上記9科目の中には、必ずグローバルセンター開講の日本語科目、および日本文化に関する科目を含むこと

・春学期に「日本文化研究」を受講し、調査／研究を行う

以上の要件を満たした場合、修了証が授与されます。プログラム修了後に成績証明書も発行されます。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

・日本語レベルに応じた日本語科目や日本文化・社会に関する科目を受講することができます。

・日本語力が十分あると認められる場合、学部生のための授業も受講できます。

・1科目は90分15回（チーム科目は8回）の授業になります。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

「日本文化研究」が必修科目です。修了レポートを作成しその内容を発表することによって2単位取得できます。

II) 日本語科目

科目名	単位数	
	秋	春
日本語 I a, b	1	1
日本語 II a, b	1	1
日本語中上級総合 I, II	2	2
日本語中上級読解 I, II	2	2
日本語中上級漢字 I, II	2	2
時事日本語 I, II	2	2
日本語中級会話 I, II	2	2
日本語中級読解 I, II	2	2
日本語中級漢字 I, II	2	2
日本語中級作文 I, II	2	2
日本語実践プロジェクト	—	2

III) 日本文化・社会に関する科目

科目名	単位数	
	秋	春
日本文化研究	—	2
関西発見プロジェクト I, II	2	2
文化交流実践研究 I, II	2	2
日本の伝統文化 I, II	2	2
日本の社会と文化 I, II	2	2
日本の地域社会	2	—
日本の現代社会	—	2
多言語実践プロジェクト	2	—
日本語レトリック入門	1	—
日本近代文学読解入門	1	—
日本の法と社会	—	1
異文化間コミュニケーション	—	2
日本語の文法	—	2
日本語教育概論B	—	2
日本語学研究 IA, IB	2	2
日本の社会・言語・文化事情 (課題把握編)	2	—
日本の社会・言語・文化の未来 (課題解決編)	2	—
多文化共生と防災	2	—
多文化共生と教育	2	—

3) 見学や地域交流等の参加型科目及びその具体的な内容

・「関西発見プロジェクト I, II」は講義と学外見学、フィールドワークを通して関西の地域社会や文化の特徴を学びます。

・「文化交流実践研究 I, II」は地域内の小学校で文化紹介・交流活動を行い、日本の社会や文化、教育について理解を深めます。

・「日本の伝統文化 I, II」は学内の専門分野の教員が担当し、剣道、柔道、陶芸、書道などを学びます。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

・「異文化間コミュニケーション」「多言語実践プロジェクト」「日本の社会・言語・文化事情（課題把握編）」「日本の社会・言語・文化の未来（課題解決編）」など、ディスカッションやグループワークを通じて日本人学生とともに学ぶ授業があります。

・本学には以下のような専攻・コースがあり、指導教員と相談した上で、専門にあった授業を受けることができます。

- 日本文学・日本語学・日本語教育を学びたい方
グローバル教育専攻 日本語教育コース
- 日本の教育について学びたい方
教員養成課程
- 音楽・美術が好きな方
教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース

⑪ 指導体制

● グローバルセンター

グローバルセンターの日研生担当教員が主に日本語・日本文化研修留学生プログラムのコードィネートをします。また、授業や日本での生活についての助言をします。

● 指導教員

指導教員が授業の履修や修了レポートについて指導します。指導教員は本学の教員養成課程、教育協働学科の教員から、各学生の興味関心を考慮して選定されます。

● チューター制度

チューター学生が留学生を一対一で支援します。学習や日常生活での助言を行い、留学中の生活をサポートします。



■宿舎

柏原キャンパス近隣地区の大坂府八尾市に留学生のための宿舎（山本国際学生宿舎）があります。山本国際学生宿舎3号棟の部屋を優先的に割り当てます。

<山本国際学生宿舎3号棟>

- * 3DKの部屋を3人でルームシェアし、1人ずつ個室に住みます。
- * 部屋割りは本学にて決定します。

○設備・備品：

- (居室) 机・椅子・エアコン・本棚・寝具(レンタル)
- (共用) キッチン・バス・トイレ・冷蔵庫・電子レンジ・テレビ・洗濯機・洗面台

○宿舎費(毎月) [2025年度現在]

- A : 28,500円 / B : 27,400円 / C : 26,200円
- * インターネット代・寝具レンタル代・光熱水費・共益費等すべて含みます。
- * 金額は部屋タイプ(A, B, C)により異なります。

○デポジット：1か月分の寮費（入居時に必要）

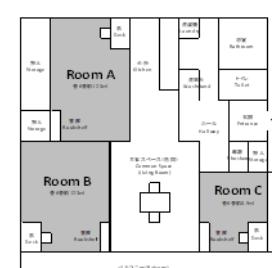
○退去時清掃代：30,000円（入居時に必要）

○特色：レジデント・アシスタント（寮に住み、日々の生活を支援する学生）と管理人が、皆さんのサポートにあたります。

* レジデント・アシスタントとは一部の住居で混住となります。

○収容定員：21名（7戸室）

○所在地：〒581-0013
大阪府八尾市山本町南7-9 大阪教育大学山本宿舎
近鉄大阪線「高安」駅徒歩約5分



■修了生へのフォローアップ

● 修了後の進路

本学で日本語・日本文化研修生として学んだ留学生は、帰国して母国の大学を卒業した後、国費留学生として再び日本で留学したり、日本語力を活用して企業等に就職したりしています。

● 修了後の情報提供

本学グローバルセンターではホームページ等を通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを行っています。



■問合せ先

<担当部署>
大阪教育大学学術部国際課留学生係

住所：〒582-8582
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL : +81-(0) 72-978-3300 (直通)

FAX : +81-(0) 72-978-3554

Email : ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

<ウェブサイト>

大阪教育大学グローバルセンター :

<https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/>

大阪教育大学 :

<https://osaka-kyoiku.ac.jp>